

## 7. 組織強化事業

### (1) 本部、支部の情報を密にし、連携強化に努めた。

本部	支部総会・役員会に出席し、支部との意見交換等を行なった。
<b>関東地区支部</b>	
埼玉	支部会議の際、本部より専務理事・事務局長に出席頂き、ご意見を頂いた。又、年4回の役員会の他に、役員会の無い月は月1回の議事検討委員会を開催して、情報交換を行い、役員相互のコミュニケーションを密にした。
<b>中部地区支部</b>	
静岡	他県支部が実施した釣り振興事業を支部役員で見学に行き、参考にした。
<b>九州地区支部</b>	
九州地区支部	各県支部とも、本部・地区支部と連携を図りながら、九州各県の遊漁関係機関及び、釣り団体との情報交換も密に行った。併せて、遊漁行政のレベルアップ及び、遊漁問題（SOLAS 問題、撒き餌問題、漁場紛争等）の円満解決を図るよう、積極的に行動した。

### (2) 釣り関連業者会員の加入を推進した。

本部	メーカーに対し、本部会員加入の勧誘を行った。
<b>東北地区支部</b>	
山形	県内の釣り具販売業者に入会をお願いをした。
<b>関東地区支部</b>	
群馬	県内業者（メーカー、管理釣り場等）を重点的に勧誘し、3社が新規入会してくれた。
<b>中部地区支部</b>	
愛知	釣り人、釣具・釣り餌店等の未加入者に対し入会勧誘を継続して行った。
<b>近畿地区支部</b>	
地区支部	フィッシングショーOSAKA2010の支部ブースに於いて会員獲得に努めた。
<b>九州地区支部</b>	
地区支部	各県支部ともに、本部パンフレットを有効活用し、日釣振活動の理解を深めると同時に未入会の釣り関係者の加入促進に努めた。

### (3) 個人会員制度の見直しをした。

本部	3月の理事会にて改訂案が承認され、年度会員制を22年度より実施することとなった。
----	--

### (4) 特別法人会員の募集を継続して行った。

#### 九州地区支部

地区支部	地区支部が中心となって、環境保全に高い関心を持っている企業に対して、日釣振の活動（魚族資源保護や環境保全）を理解して頂くと同時に、特別法人会員への加入をお願いした。
------	--

### (5) サポーターの強化をした。

#### 九州地区支部

地区支部	日釣振サポーターへの加入を促進するために、HPを運営している支部については、バナーを貼り、積極的にPRを行った。
------	--

### (6) 本部・支部共に体系的・効率的な連絡網の構築をした。